

## 小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。  
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	未来の家プロジェクト（総合的な学習の時間及び理科）
学年	小学校第6学年
目標	家についての発展や家づくりに関わっている方々の思いについて調べたり、未来の家について提案するための方法を考え伝えたりする探究活動を通して、自らもつ課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することができるようにする。
教材タイプ	ビジュアル言語、タンジブル
使用教材	MESH
環境	学校所有のタブレット端末グループで1台使用
都道府県	静岡県
実施校	菊川市立横地小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>実施日時：令和3年2月1日（月）</p> <p>①単元や題材などの学習内容について</p> <p>本単元は未来の学びコンソーシアムにおけるみらプロ 2020 に沿って、積水ハウス株式会社様の御協力のもと、掲載されている学習指導案をもとに授業を行った。同社の資料で理解を深め、工場見学をした上で、プログラミング体験をしながら未来の家づくりについて考えるとともに、自己の生き方についても振り返った。終末には、オンライン会議システムを用いて同社の方々に自分たちが考えたものをプレゼンした。</p> <p>②プログラミング体験、児童の様子について</p> <p>総合的な学習の時間だけでなく、理科でも電気の利用の単元で MESH を使用した。先行的に操作に慣れておくことで、総合の時間で使用する際に手間取ることがなくなっていた。その後、グループのプログラミング体験で試行錯誤しながら理想の家の構造を考えた。プレゼン後の子どもたちには満足感が見られ、同社の社員の方に価値付けしていただくことで、社会とのつながりを実感していた。</p>
成果と課題	<p>成果：プログラミング体験を通して、教科・領域のねらいを達成することができた。</p> <p>課題：コロナ禍におけるカリキュラム・マネジメント。</p>

